

次世代育成事業・第3回まつやま活性化コンテストQ & A

【応募について】

Q. 三津浜地域以外で実施する施策を提出しても良いですか。

A. いいえ。今回のコンテストは、場所を三津浜地域のみに絞り、10月(予定)に実施できる施策を募集しています。

Q. 応募用紙に記載する文字数や図などの制限はありますか。

A. 制限はございませんが、メールでの応募になりますので、あまり容量が大きくなりないようにしてください。

Q. いくつまで応募できますか。

A. 応募数の制限はございません。

Q. どのような施策でも応募することができますか。

A. 現実的に実現可能な施策をお願いします。

Q. 事業予算を増やすために参加者から参加費をいただいても良いのでしょうか。

A. はい。大丈夫です。ただし、収益(儲け)を目的とした参加費の徴収は行うことができません。

Q. 募集期間を過ぎて応募した場合、どのようになりますか。

A. 審査対象外となってしまいます。なるべく早めに応募していただくことをお勧めします。

Q. 応募用紙に記入する個人情報はどうのように扱われますか。

A. 松山青年会議所で管理させていただき、コンテスト以外での使用は行いません。

Q. 1人で応募しても構いませんか。

A. 原則2人以上のチームでの応募をお願いします。

Q. ほかのチームと掛け持ちで応募してもかまいませんか。

A. 原則掛け持ちはご遠慮ください。

Q. メールではなく郵送で送らせていただいてもいいですか。

A. 郵送でも構いませんが郵送料を負担していただき、応募期間内に届くようにお願いします。

次世代育成事業・第3回まつやま活性化コンテストQ & A

【1次審査について】

Q. 審査結果はどのように行われますか。

A. 代表者様のメールアドレスに審査終了した数日中に審査結果を送付させていただきます。

Q. 1次審査は審査会場に出席するのでしょうか。

A. いいえ。1次審査は書類審査となっており、審査員だけで行います。

Q. 最終審査まで残ったら、どうなりますか。

A. プレゼンテーション用の資料を作成する必要があります。打ち合わせ日時など、専属の担当者から代表者様へご連絡させていただきます。ご連絡は、基本的にはメールでのやりとりになりますが、緊急の場合、ご記入いただいた電話にご連絡をさせていただく場合がございます。

Q. 審査はどういった基準で行われるのですか。

A. 基本項目・将来性・地域色・期待性・協働性・現実性・継続性などを考慮して行われるので、できるだけ細かく応募用紙に書いていただけると有利です

次世代育成事業・第3回まつやま活性化コンテストQ & A

【最終審査公開プレゼンテーションについて】

Q. 最終審査公開プレゼンテーションはグループ全員で行うのですか。

A. 全員が望ましいですが、規則はありません。

Q. 最終審査公開プレゼンテーションの当日にチームの全員が出席できない場合どうなりますか。

A. 誰一人来られない場合は失格となります。一人でも来られる場合は青年会議所のスタッフができるだけお手伝いをしますので早めにご相談ください。

Q. どのような服装で参加すれば良いでしょうか。

A. 制服がある場合、制服での参加が望ましいです。奇抜な服装や過度に露出の多い服装はお控えください。

Q. 最終審査公開プレゼンテーションのPC操作はチームの一員がするのでしょうか。

A. 原則チームの誰かが操作をしていただきますがご希望であれば青年会議所のメンバーが操作をさせていただきます。

Q. プレゼンのパワーポイントはパソコン持ち込みをするのですか。

A. データを先にお預かりして青年会議所が用意したパソコンで操作していただきます。

Q. パソコンが苦手なのですがパワーポイントの作り方など教えていただけませんか。

A. 一次審査通過後に各チームの担当に青年会議所のメンバーがつきましてアドバイスをいたします。このコンテストを機会に勉強しましょう。

Q. 最終審査公開プレゼンテーション当日の移動費などは支給されますか。

A. 原則、自己負担です。

次世代育成事業・第3回まつやま活性化コンテストQ & A

【施策実施について】

Q. 応募用紙に書いた通りの事業やイベントが実施できるのですか。

A. 最終審査後、事業の規模や日時などを協力団体等と相談し、できる限り計画に沿ったものが実施できるよう努めます。

Q. 施策実施の主催はだれになりますか。

A. コンテスト事業の一環ですので、主催は松山青年会議所になります。但し、グループ名や学校名が前面にアピールできるよう工夫を行います。

Q. 事業費はいただけるのでしょうか。

A. いいえ。松山青年会議所内で、ご提出の収支計画の整合性を協議し、適正な運営方法に則した用途を決定した後、各見積業者へ支払います。

Q. 参加者から参加費をいただいて最終的に儲けが出ってしまった場合、その儲けをいただくことは可能でしょうか。

A. いいえ。直接グループにお渡しすることはできません。仮に収益が出ってしまった場合、青年会議所内で協議のうえ、使用方法を決定します。

Q. グループ以外の人にも実施のお手伝いをしてもらって良いのですか。

A. 学校の仲間を募っていただいて結構です。また、ボランティアには松山青年会議所メンバーも参加します。